

東北中学校体育連盟設立 60 周年記念大会
平成 27 年度 東北中学校体育大会
第 38 回 東北中学校柔道大会実施要項

1 目的 この大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身共に健康な中学生を育成するとともに、中学校生徒相互の親睦を図るものである。

2 主催 東北中学校体育連盟 東北柔道連盟 宮城県教育委員会 仙台市教育委員会

3 後援 東北地区中学校長会 宮城県中学校長会 仙台市中学校長会 青森県教育委員会
岩手県教育委員会 秋田県教育委員会 山形県教育委員会 福島県教育委員会
(公財)宮城県体育協会 (公財)宮城県スポーツ振興財団 仙台市
仙台市教育委員会 仙台市体育協会 共同通信社仙台支社



4 主管 宮城県中学校体育連盟 宮城県柔道連盟 仙台市中学校体育連盟 仙台市柔道協会

5 会期 平成 27 年 8 月 3 日 (月) ~ 5 日 (水)

8 月 3 日 (月)	選手受付	13:00~15:00	中央ホール
	非公式計量 (団体試合出場者)	13:30~14:30	第 2 競技場
	公式計量・柔道衣点検 (団体試合出場者)	14:30~15:30	第 2 競技場
	監督会議	15:30~16:00	研修室
	東北六県委員長会議	16:00~17:00	小会議室
8 月 4 日 (火)	開館	7:40	
	審判会議	8:30~ 8:50	研修室
	開会式	9:00~ 9:25	第 1 競技場
	競技開始 (男女団体試合)	9:30~	第 1 競技場
	表彰式 (男女団体試合)	14:30~	第 1 競技場
	個人試合受付	13:30~15:00	中央ホール
	非公式計量 (個人試合出場者)	14:00~15:00	第 2 競技場
	公式計量・柔道衣点検 (個人試合出場者)	15:00~16:00	第 2 競技場
8 月 5 日 (水)	開館	7:40	
	審判会議	8:30~ 8:45	研修室
	競技開始 (男女個人)	9:00~	第 1 競技場
	表彰式 (男女個人)・閉会式	15:00~	第 1 競技場

6 会場 仙台市体育館 〒982-0032 宮城県仙台市太白区富沢一丁目 4 番 1 号 TEL022-244-1111 FAX022-244-1115
※練習会場: 宮城県武道館 〒982-0844 宮城県太白区根岸町 15-1 TEL022-249-1216 FAX022-246-7736

7 参加資格 (1) 学校教育法第 1 条に規定する中学校に在籍し、各県中学校体育連盟に加盟する中学校生徒で、当該競技要項により大会参加資格を得、校長が参加を認めた者。
(2) チーム編成については単独校による男女別とする。
(3) 過年齢生徒の参加については、体力的、技術的要因が大きく関わると考え、満 16 歳に達した年度まで出場できるものとする。
(4) 参加資格の特例 (各種学校等)
①学校教育法第 134 条の各種学校 (1 条校以外) に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
②参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
ア 東北大会の参加を認める条件
(ア) 東北中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
(イ) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
(ウ) 参加を希望する学校は、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。

イ 東北大会に参加した場合に守るべき条件

(ア) 東北大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(イ) 東北大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

(ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

8 引率者及び監督

- (1) 引率責任者及び監督は、出場校の校長・教員(非常勤は除く)とする。ただし、当該校に部活動がない個人種目については、別紙「東北中学校体育大会引率・監督細則」に基づき特例を認める。
- (2) 外部コーチは、校長が認めた者とする。ただし、中学校教職員・校長が他校の外部コーチとしてベンチに入ることは認めない。

※外部コーチ … 校長が学校部活動の指導者として承認した者で、日常的に学校部活動の指導に当たっている者。年度当初に各県中体連柔道専門部に登録をした1校1名につき認める。

- (3) 審判員に準ずる服装をすること。

9 参加数

- (1) 男子団体試合は各県4チームの24チーム、女子団体試合は各県2チームの12チームとする。

- (2) チームは1校単位で編成したチームとする。

①男子チームの人員は、監督1名、コーチ1名、選手8名以内とする。

②女子チームの人員は、監督1名、コーチ1名、選手5名以内とする。

- (3) 個人試合は、男子8階級、女子8階級で行う。男子は、各階級とも各県4名の24名、女子は各階級とも各県2名の12名とする。体重区分は次のとおりとする。

①男子	50kg級 (50kg以下)	55kg級 (55kg以下)
	60kg級 (55kg超～60kg以下)	66kg級 (60kg超～66kg以下)
	73kg級 (66kg超～73kg以下)	81kg級 (73kg超～81kg以下)
	90kg級 (81kg超～90kg以下)	90kg超級 (90kg超)
②女子	40kg級 (40kg以下)	44kg級 (40kg超～44kg以下)
	48kg級 (44kg超～48kg以下)	52kg級 (48kg超～52kg以下)
	57kg級 (52kg超～57kg以下)	63kg級 (57kg超～63kg以下)
	70kg級 (63kg超～70kg以下)	70kg超級 (70kg超)

- (4) 団体試合及び個人試合で不参加チームあるいは選手が出た場合は、開催県で補充できる。

10 計量及び柔道衣点検

- (1) 計量

① 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行うことを認める。

② 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。

③ 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。

④ 団体試合の公式計量

ア 監督が立ち会い、チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。順番の入れ替え等があった場合は通知する。

イ 服装は、男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きのみを着用とする。下着の着用は認めるが、包帯、サポーター等の着用は一切認めない。

⑤ 個人試合の公式計量

ア 定められた階級の体重区分にない者は失格とする。

イ 監督は計量場所には入れない。指定の場所にて待機すること。

ウ 服装は、男子は下穿き、女子はTシャツと下穿きの着用を認める。下着の着用は認めるが、包帯、サポーター等の着用は一切認めない。

エ 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

- (2) 柔道衣点検

① 公式計量に引き続き、柔道衣点検を行う。

②(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿き、帯)を着用すること。

③ 柔道衣に必ずゼッケンを(学校名・名字入り)を縫い付けて出場すること。

ア 布地は白(晒・太綾)とする。

イ サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。

ウ 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。

エ 書体は太字ゴシック体とする(明朝体または楷書体も可)。男子は黒色、女子は濃い赤色。

オ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

④女子の試合者は、上衣の下に、白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又はレオタードを着用すること。Tシャツのマークについては、(公財)全日本柔道連盟が定める規定に準ずる。

⑤(公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。女子の黒帯は白線入りとする。

⑥胸マーク等については、道場名は不可とする。

11 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び国内における「少年大会申し合わせ事項」による。
- (2) 優勢勝ちの判定基準は次の通りとする。
 - ① 団体試合の個々の試合においては、「有効」以上又は「僅差（「指導」の差2以上）」とする。優劣の成り立ちは以下のとおりとし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

「一本」 = 「反則勝ち」 > 「技あり」 > 「有効」 > 「僅差」

チーム間の内容が同等の場合は、任意の選手による代表戦を行う。（但し、予選リーグにおいては代表戦を行わず、「引き分け」とする。）代表戦の判定基準は個人試合と同様とし、得点差がない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
 - ② 個人試合は、「有効」又は「指導1」以上とする。得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
- (3) 試合時間は、団体試合・個人試合ともすべて3分間とする。延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
- (4) 「試合場におけるコーチの振るまい」について、「脳振盪対応について」を適用する。

12 競技方法

- (1) 団体試合
 - ① 男子は、参加24チームを3チームずつ8組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位8チームによって決勝トーナメント方式を行う。女子は参加12チームを3チームずつ4組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の1位、2位8チームによってトーナメント戦を行う。
 - ② 男子は1チーム5人制、女子は1チーム3人制により試合を行う。
 - ③ チーム編成は、男女とも最も体重の重い者を大将とし、以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合も同様に体重順とする。試合毎に選手位置の入れ替え及び、一度退いた選手の再出場は認めない。※選手変更は、基本的に前試合開始までに所定の場所にて受け付ける。
 - ④ リーグ方式の順位は、次の方法によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
 - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
 - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
 - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
 - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
 - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。（3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。）
 - ⑤ トーナメント方式の順位は、次の方法によって決定する。
 - ア チーム間における勝ち数による。
 - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
 - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- (2) 個人試合
 - ① 男子はトーナメント方式で行う。
 - ② 女子は参加12名を3名ずつ4組に分け、各組でリーグ方式を行い、各組の1位4名により決勝トーナメント方式を行う。（リーグ方式で同点の場合は、抽選によりトーナメント方式で勝敗を決する。）

13 表彰

- (1) 団体試合は、男女とも1位～3位までの4チームを表彰する。優勝校（男女）には優勝カップを授与する。（優勝カップは持ち回りとする。）
- (2) 個人試合は、各階級とも第1位～第5位までの8名を表彰する。

14 参加料

- (1) 参加生徒一人2,000円とする。宿泊費とともに、下記口座に学校名にて振り込むこと。
- (2) 振込先

金融口座	七十七銀行 名掛丁支店
口座番号	普通 9164863
口座名義	東武トップツアーズ(株) 仙台支店

15 参加申込

- (1) 申し込み方法
 - ① 大会申込書（Excel ファイル）に必要事項を入力し、申込先にE-mailで送信すること。
 - ② ①で完成した申込書をプリントアウトし、職印を押印の上、申込先に郵送すること。
 - ③ 【申込〆切】平成27年7月24日（金）17:00 必着 ※〆切を厳守すること。

(2) 申込先

〒980-0022 宮城県仙台市青葉区五橋 2-2-1 仙台市立五橋中学校内 矢吹 健一 宛
TEL 022-225-5476 FAX 022-217-9723
E-mail yabu0305@sendai-c.ed.jp

(3) 各専門委員長は、参加選手一覧表を各県予選会後すぐに、E-mailにて実行委員会事務局（開催県専門委員長）へ報告すること。

16 諸会議

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| (1) 監督会議 | 平成27年8月3日(月) | 15:30~16:00 |
| | 仙台市体育館 2F 研修室 | |
| (2) 東北六県委員長会議 | 平成27年8月3日(月) | 16:00~17:00 |
| | 仙台市体育館 小会議室 | |
| (3) 審判会議 | 平成27年8月4日(火) | 8:20~8:50 |
| | 平成27年8月5日(水) | 8:30~8:45 |
| | 仙台市体育館 2F 研修室 | |

17 宿泊

宿泊要項は別紙とする。大会出場者（引率者・監督・コーチ・選手）の宿泊については、必ず宿泊要項にある指定業者を通して申し込むこと。

18 その他

(1) 練習会場の開放日は次の通りとする。

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| ① 8月3日(月) | 宮城県武道館柔道場 | 8:00~17:00 | |
| | 仙台市体育館第1競技場 | 14:00~16:00 | (団体出場者のみ) |
| ② 8月4日(火) | 宮城県武道館柔道場 | 8:00~17:00 | |
| | 仙台市体育館第1競技場 | 7:45~8:45 | (団体出場者のみ) |
| | | 15:00~16:00 | (個人出場者) |
| ③ 8月5日(水) | 仙台市体育館第1競技場 | 7:40~8:50 | (個人出場者) |

(2) 選手変更について

① 団体試合

ア 大会申込提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合は、当該校の校長からの選手変更届（様式は自由、変更の理由、公印必要）を各県委員長に提出すること。

イ 大会当日の選手変更は、登録選手の交代のみとし、体重順に編成替えをすること。

② 個人試合

ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で出場できなくなった場合は、当該校長からの辞退届（様式は自由、辞退の理由、公印必要）を各県委員長に提出すること。

イ 当該県の推薦により、新たに申込書を作成の上、替わりの選手を出場させることができる。

③ 変更届・辞退届及び新しい申込書（個人試合のみ）は、7月30日（木）正午までに、当該県の委員長より大会事務局に提出すること。それ以後は受け付けない。

(3) 大会期間中の負傷・傷病等については、応急処置のみ実施する。大会参加者は、健康保険証を持参することが望ましい。

(4) 役員・監督・コーチ・選手以外は試合会場への入場を禁止する。

(5) プログラムは、参加校の監督に1部配布する。

(6) 大会についての問い合わせは、各県専門委員長を通じて申し出ること。その他、必要事項については監督会議において連絡する。監督会議に出席できない場合は、各県で対応する。

(7) 東北中学校体育連盟では申込書に記載する、選手氏名・学校名・学年等の情報は、本大会プログラムへ掲載し広く公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績については報道発表並びにホームページに掲載する。申込書に掲載する情報の利用について同意が得られない等、事情がある場合は各県中学校体育連盟を通して東北中学校体育連盟及び開催県実行委員会と連絡をとり、適切に対処する。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとする。

19 連絡先

第38回東北中学校柔道大会実行委員会事務局
〒983-0013 宮城県仙台市宮城野区中野字高橋前65
仙台市立中野中学校内 遊 佐 英 徳
TEL 022-259-2020 FAX 022-259-2593
E-mail hideyusa@sendai-c.ed.jp